

つなごろう 社会と

発行：中野市社会教育委員会議
事務局：中野市教育委員事務局生涯学習課

ひきこもりから社会とつながるには・・・

ひきこもりの当事者が五十歳を超え、その親が八十歳を超える、いわゆる「八〇五〇問題」などひきこもりの問題が社会的参加(義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交遊など)を回避し、原則的には6カ月以上ひきこもりにおこむ家庭にとどまり続けている状態のことです。(引用元「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」厚生労働省補助金事業)

「私たちが社会教育委員は、このひきこもりの問題について次のテーマをもって、研究調査することにしました。」

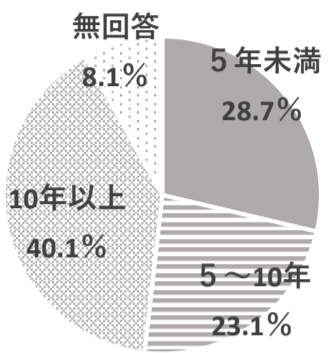
長野県が、「ひきこもり等に関する調査」を実施

県が、平成31年2～4月にかけて、県内の民生児童委員(5040人)に対し、担当地区において把握している情報をアンケート用紙に記入してもらった方法で調査を行った結果(回収率89.4%)、県内のひきこもりに該当する人の総数は、2290人でした。うち、性別での割合は、男性72.9%、女性21.8%でした。また年代別では40歳代が最も多く、次いで50歳代、30歳代となっています。期間については、5年以上10年未満が21.3%、10年以上が40.1%とっており、引きこもり期間の長期化が伺える結果となっています。(長野県ホームページより)

【研究調査テーマ】

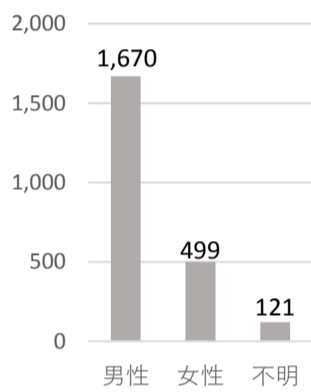
ひきこもりとなり 社会参加ができなくなる前の段階で 社会教育委員としてかかわれること

ひきこもり期間の割合

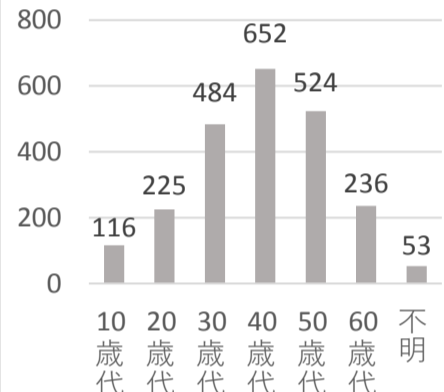


長野県は、令和3年度に、「(仮称)ひきこもり支援連絡協議会」を設立します。この連絡協議会は、ひきこもりの当事者一人ひとりには違った支援が必要であり、支援についての方法を学び合ったり、情報の共有を目的として設立されます。

男女別の人数



年代別の人数



中野市の状況と問題点

中野市での、ひきこもりに関する新規相談件数は、4件(H30年度)となっています。ご相談いたただいてからその後のフォローアップとして、保健師と社会福祉士による自宅訪問を定期的に行っています。しかし、ひきこもっている人がいる家族は、誰にも相談できず、抱え込んでしまう場合が多く、ひきこもり状態にある人の数を、正確に把握することができないという現実があります。

また、ひきこもりとなった場合、その期間が長期化することで、それに伴う本人や家族の高齢化や心身上の健康、生活困窮等の不安が生じるなど、課題は複合化します。

ひきこもりは、早い段階で支援を受けられることで長期化を防げる可能性があります。私たち社会教育委員は、ここに研究調査の視点を置き、早い段階で支援をしている身近な団体を視察しました。

【視察1】 NPO法人ぱーむぼいす (飯山市)

「ぱーむぼいす」とは、手のひらの声という意味で、長野県の北信(中野市・飯山市・須坂市)を中心に、学校生活や社会生活に違和感・抵抗感を感じ、なじめない青少年やその保護者の支援に取り組んでいるNPO法人です。

ぱーむぼいすでは、学校生活や日常生活についての相談をはじめ、いくつかの支援を行っている中から、私たちは就労準備支援事業「ほっぶすてっぷジョブカレ」を視察しました。

この事業は、概ね高校卒業後から29歳くらいまでの青少年で就労の意思のある人が対象で、職について勉

強し仕事に必要なスキルを身につける学びの場です。令和2年度の受入れ人数は23人で、うち6人が就職へと繋がりました。

私たちが視察に行くとき、通所している人たちは、建物の一室で黙々と作業をしていました。作業している様子を見てみると、通所者が安心して作業ができるように、また孤立しないように配慮されていることが分かりました。

また、この事業を利用するには、まず相談支援事業を利用します。しかし、当事者への相談が容易ではない時もあります。そのため、まず保護者と話をした方が、支援に繋がりがやすい場合が多いと聞きました。70代の母親に内職を届けながら1年半かかわりを持ち続け、やっと当事者の支援に繋がった話を聞き、創意工夫をし、御尽力されていることに頭が下がる思いでした。

また、池田剛理事長のお話の中で「いかに早い段階で、現在の状況をキャッチし、早めに支援を始められるかが大きなポイントである。」ことを知り、状況が長期化すれば本人や家族が孤立してしまう。そうならないために、継続的な相談支援活動や気軽に立ち寄り何でも話せる身近な居場所づくりなど、社会全体でその仕組みづくりが必要ではないかと感じた貴重な視察となりました。



▲ほっぶすてっぷジョブカレ中野。手を休めず黙々と作業をしている様子から一生懸命さが伝わってくる。

【視察2】 春蘭の宿さかえや (山ノ内町)

春蘭(しゅんらん)の宿さかえやは、ひきこもりを経験した人などを従業員として雇い、共に生活しながら旅館の経営を全社員で行っています。「すべての従業員が孤立せず、仲間を意識できるように、なってほしい。そのためにやるべきことを徹底したい。」と話す、湯本晴彦代表取締役。

社員が一緒に生活することで、気軽に何でも話せる仲間が身近にいるという居場所づくりが繋がっています。

さかえやでの取り組みとして、就労体験の受け入れや、高校の卒業資格を取得できるフリースクールの経営、全社員で取り組む町内のトイレ掃除を行っています。

年末には、一年間いろいろな方にお世話になったという感謝の気持ちをもち、社員の方々は他の誰かのために時間を使う活動として、募金活動を行っています。自分たちが募金活動をして差し上げてい



▶春蘭の宿さかえやを視察した時の様子。社員のアイデアで飾り付けられた館内は、華やかに輝いていた。

ひきこもりは、私たちの想像以上に重く大きな社会問題でした。



▲年末の募金活動



▲町内のトイレ清掃

「自分には人から支えられていない」という事実の気づきにつながっているそうです。春蘭の宿さかえやでは、このよ

私たち社会教育委員が、「今」思うこと

【ひきこもりについての相談窓口】

- 中野市 健康福祉部健康づくり課 0269-22-2111
- 中野市生活就労支援センター まいさぼ中野 0269-38-0221
- 長野県北信保健福祉事務所 0269-62-6104
- ひきこもり支援センター 026-227-1810



※相談は、平日8:30~17:15です。

私たちが社会教育委員は、「家族がひきこもりかもしれない」と感じた時、まずどこに相談すればいいかを発信したいと思えました。相談は、電話でもお受けできます。専門的な知識を持った保健師や社会福祉士、相談員がお話を伺います。まずは第一歩を踏み出してみませんか。

「もしかして、ひきこもりかも?」と思ったら

このような情報を、分かりやすく発信し、多くの人に關心を持っていただきたいと思います。ひきこもりは、当事者やその家族だけの問題ではないのです。私たちが今後、さらに一歩踏みこんで、ひきこもりについて勉強し、私たちができる支援について考えてみたいと思っております。視察について、快くお引き受けいただき、ご協力いただきました2団体様に心より御礼申し上げます。

- ・ひきこもりの現状について
- ・相談窓口
- ・支援団体の活動
- ・当事者や、その家族の思い

私たちが、次に挙げることを、多くの人に知って欲しいと、考えています。

③家庭問題の悩み

機関	電話番号	相談内容
中野市 女性相談窓口	(0269)23-4810	家庭、夫婦、男女関係等の困りごと、配偶者からのDV相談
女性相談センター	(026)235-5710	
男女共同参画センター「あいとぴあ」	女性相談 (0266)22-8822 男性相談(金曜日) (0266)22-7111	
長野県児童虐待・DV 24時間ホットライン	(026)219-2413	児童虐待及びDVIに関する相談
中野市 子ども相談室	(0269)22-2111	乳幼児から18歳までのお子さんの相談

④その他の相談窓口

機関	電話番号	相談内容
中野総合労働相談コーナー(中野労働基準監督署内)	(0269)22-2105	労働問題全般(賃金、労働時間、解雇等)
北信労政事務所	(026)234-9532	職業相談
ハローワーク飯山	(0269)62-8609	
中野市地域職業相談室	(0269)23-4710	生活就労支援
生活就労支援センター まいさぼ中野	(0269)38-0221	
ほくしん圏域障害者就業・生活支援センター	(0269)38-0615	生活支援相談
北信圏域障害者総合相談支援センター	(0269)23-3525	
中野警察署	(0269)26-0110	警察安全相談 DV、ストーカー、犯罪被害等
中野市 社会福祉協議会	(0269)26-3111	心配ごと・日常の悩みごと相談 福祉相談
中野市 商工観光課	(0269)22-2111	概ね45歳までの就業相談 (ミニジョブカフェ)

※掲載の情報は令和3年2月時点のものです。

※相談日や相談時間等詳細は、それぞれの機関にお問い合わせください。

①こころ・身体の悩み

機関	電話番号
中野市 健康づくり課	(0269)22-2111
中野市 福祉課	
中野市 電話健康相談所	(0269)23-0300
北信保健福祉事務所 健康づくり支援課	(0269)62-6104

②借金など経済問題の悩み(法律相談等)

事業内容・機関	電話番号
クレサラ無料法律相談(長野県弁護士会)	(026)232-2104
消費者トラブル・少額トラブル110番(長野県司法書士会)	(026)233-4110
法制度の紹介・相談窓口の紹介(法テラス)	(0570)078374
消費生活・多重債務等に関する相談(消費生活相談員)	北信消費生活センター (026)223-6777
	中野市消費生活センター (0269)22-2201
くらしと健康の相談(北信保健福祉事務所)	(0269)62-6104
財産・相続金銭貸借離婚等の法律に関する相談(弁護士・相談員)	中野市社会福祉協議会 (0269)26-3111

その他 自殺関連など心に関する相談窓口

- こころの健康相談統一ダイヤル (0570)064-556
- いのちの電話 長野 (026)223-4343
- いのちの電話 全国 (0570)783-556
- チャイルドライン (0120)99-7777 18歳まで
- ひとりで悩まないで@長野 中・高校生を対象としたLINEでの相談 長野県教育委員会事務局 心の支援課 (026)235-7450

あなたのまわりの相談窓口 (ひきこもり以外のご相談)

ひきこもりの悩み以外にも、さまざまな悩みを抱えている方がいらっしやいます。相談窓口をご紹介します。

※中野市・長野県北信保健福祉事務所発行 「一人で抱え込まないで!」より抜粋

【編集後記】

(委員は五十音順 敬称略)

高校中退後五年ほどひきこもりの経験のある若い人から話を聞くことができ、彼女が「学校へ行くことはできない」と自傷行為を繰り返す。また、こうも話してくれました。「私がここまでボロボロになってしまった理由は、何があっても自分一人で抱え込み、ひたすら我慢を続けて限界を超えてしまったから。ここまですべて壊してもなお、当時の私は『自分が弱いから』『我慢が足りないから』と自分を責め続けていました」と。一方、世間には「ひきこもっている人は怠け者で、努力の足りない人じゃない?」という声もあります。でも、本当にそうでしょうか? 誰もが自分を責める、否定する、追い込むなどなく、生きやすい社会を中野市社会教育委員 委員長 増田正明

- 中野市社会教育委員長 増田正明
- 副委員長 小山むつ子
- 委員 青木幸子
- 岡村寛子
- 篠原修子
- 関うた子
- 田端英樹
- 土屋美佐子
- 馬場文雄
- 山崎吉治

